川崎支部　第１回　講演会

**２０１9年４月２０日（土）　　１4：００～１5：3０**

「こな屋の仕事と大学の使命～神奈川県の企業との産学連携～」

　　　　　　　　　　　　　　　　　講師：　東京都市大学名誉教授　湯浅　栄二

近年、工業製品には粉末冶金法（Powder Metallurgy、略称PM法)によって“ものづくり“される製品がたくさんあります。“ものづくり”のモノが、粉末、つまり“こな”という非常に小さな物質で、これを特殊な金型（製品を作るための金属製の型）へ流入し、製品の形に焼き固める方法です。自動車部品などではたくさん使われていて、神奈川県内には多くの企業で行われています。一方、普段何気なくお使いの石鹸や化粧品も、“こな”を用いた製品です。つくり方や装置・道具に工夫が必要ですし、使いやすい製品にするためにも、いろいろな工夫がされています。こな屋の仕事はこのような“ものづくり”ですが、製品の品質を確かめることも大事で、大学の施設や設備、あるいは知恵までお借りすることがあります。

東京都市大学には、最新鋭の測定機器が備えられていますので、企業と大学が連携することは、よい製品、使いやすい製品の“ものづくり”に大変重要なことです。本講演では、身近な製品として、口紅やファンデーションなどの化粧品をつくる際に、大学の装置が役立ったお話をいたします。　　　　　　　　　　　　　　　　＊粉末冶金法とは、金属の粉末を「金型」に入れて圧縮して固め、高温で「焼結」して精度の高い部品をつくる技術のことです。Powder Metallurgy(パウダー・メタラジー)、略式ＰＭまたはP/Mと表記されます。

会　場 ：東京都市大学　二子玉川夢ｷｬﾝﾊﾟｽ（ライズビル8階）

 参加費 ：無料　お茶をご用意

対　象 ：どなたでも【当日の参加も大歓迎】

主　催 ：東京都市大学 校友会　川崎支部

連絡先 ：川崎支部　山岸(080-9353-4253)（窓口）